

# 歯がなくなっても大丈夫。良い治療法があります！

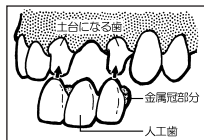
## 1. 出し入れする入れ歯

両端の歯にクラスプという止め金を付け、出し入れする方法で歯の欠損部を補います。隣の歯を削らないことがメリットですが、止め金をかけるには大きな負担がかかったり、異物感があったり、食事後取り外して清掃しなければならない、止め金が見えて審美的に悪い点などの問題があります。



## 2. フリッジ

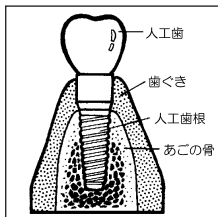
両端の健康な歯を削って固定式の銀歯(セメント接着)をかぶせます。出し入れする入れ歯と比べると異物感が少なく一般的な治療方法であります。しかし両隣の歯を削ったり、歯の神経をとったりする欠点があり、長期的予後に問題があります。



この従来の方法だと、隣の歯に大きな負担がかかってしまいます。  
そこで、インプラントの治療をご紹介します。

## 3. インプラント

歯の失われた部位の顎の骨の中に、チタン製の人工な歯根を埋め込み、その上に人工歯を取り付けます。自分の歯と同じように噛める、審美的で上記の2つの治療法とは全く異なる考えで研究開発されたので、隣の歯を削る事はありませんし、手術時の痛みも少なく、長期的に安心してご使用できる最新の治療方法です。



## このような患者さんにインプラントをお勧めします

- 入れ歯(義歯)がガタついたり、気になって食事がまずい。  
また、思うように噛めずに食べるものが限られてしまった人。
- 入れ歯が動くため発音、発声がおかしくなり、しゃべりにくくなった人。
- 営業職、調理師等、職業的に入れ歯では困る人。
- 入れ歯を入れることが精神的に負担になっている人。
- 事故などで、歯が折れたり、抜けてしまった人。

欧米ではなるべく自分の歯を削らない傷つけないことが、重要視されております。インプラントは歯を失ったところに人工的な歯をよみがえらせる唯一の治療方法です。

インプラントは、保険制度ではおこなうことができません。  
自費治療になりますので患者様にとって最良の方法を選択できます。  
費用のことや、治療期間のことなど、スタッフに何でもご相談ください。

# KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

## 11 2001年 月号



10月より東京都の医療費助成金の制度が変更になりました。就学前のお子様は、保険治療の負担金を窓口で支払う必要がなくなりました。そこで当院では、お口の健康管理の出発点となるこの乳幼児期に、歯科医院を気軽に訪れ治療を受けることができるようにしたいと、新しい試みを取り入れることにしました。

これまで「歯っぴいクラブ」へのご入会時に特典として差し上げていた保護者用ハンドブックを、これからは対象者となるすべての保護者の方に、お子様の治療終了時にプレゼントいたします。歯科知識がギユと詰まった小冊子を片手に、お子様の歯の健康を守り育てる大切な役割を担ってください。私たちも一緒に頑張ります。

なお、「歯っぴいクラブ」にご入会いただくと、お子様用の歯の健康手帳を差し上げます。この手帳には、受診の度に治療内容を記入します。大きくなったときには、素敵なお成長の記録となります。どうぞこちらへも奮ってご参加ください。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

## ☆ 診療日変更のお知らせ ☆

- 11月10日(土)..... 午後休診
- 11月23日(金)~25日(日)..... 連休
- 12月29日(土)~1月6日(日).... 年末年始休暇



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F  
☎ 03-5699-8888